



緊急事態宣言継続中

6月20日まで新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が再延長されました。高齢者のワクチン接種も始まりましたが、接種後も今まで以上に気を付けて過ごしていきましょう。

マスク着用、手洗い、3密の回避、ソーシャルディスタンス確保、多人数での飲食、不要・不急の外出の自粛、他

この時期、熱中症予防対策も行いましょう。
のどが渇いてなくてもこまめに水分補給を行い、暑さを避けるためにエアコン・扇風機も利用してこの夏を乗り切りましょう。

熱中症の症状と応急処置



学校田の田植えを行いました



5月17日(月)学校田の田植えを営農組合の皆さんの指導により行いました。天候不良のため予定時間変更により午前は5年生、6人で行い、午後には3年生、4人で行いました。あいにくの雨で短時間の体験になりましたが今から収穫が楽しみです。



区長会 青谿書院周辺草刈り及び小学校芝刈り作業行う

5月23日(日)森林整備事業の一環として青谿書院周辺の草刈り作業実施。引き続き宿南小学校芝生管理委員会5月当番の区長会でグラウンドの芝刈り作業を行いました。当日は天候にも恵まれ、予定の作業を行うことができました。緊急事態宣言が解除されましたら、青谿書院に是非お越しください。



身近に見られる植物 ①

タチアオイ（立葵）

今、宿南バス停から第一宿南踏切に続く道路沿いにアジサイとタチアオイが咲いています。タチアオイが一番先まで咲くと、梅雨が明けると言われています。あまり雨の降らない梅雨ですが、もうすぐ明けるのかな？

※地区に生育する植物をシリーズで掲載予定です。



行事予定



- 6月25日（金） 第1回文化部会
- 6月28日（月） 宿南地区水害対策期成同盟会総会（書面開催）
- 7月4日（日） 農家日役
- 7月21日（水） 夏休み（小学校・中学校）
（ラジオ体操については次号でお知らせします）
- 8月24日（火）



草庵先生紹介

日記 28



宿南の村の中を
新年のあいさつ
に回る草庵

宮崎和夫さん作

池田草庵は正月をどのように過ごしていたのだろうか。青谿書院に移って半年後に迎えた正月の日記を読んでみる。

「朝片山（実家）に行く。池口家に寄って帰院。年賀の客2、3人来る。塾生と対話する。午後しばらく横になる。夜、片山に行き風呂。10時ごろ帰院。読書は『畜徳録』20ページ。12時ごろ就寝」（弘化5〈1848〉年1月1日）

正月の4日間、講義は休みにしているが塾生は何人が書院にいた。その塾生たちと話したり、やって来る年賀の客を迎えたりしている。客はほとんど村の人たちだ。草庵はいつものように訪問してくる人を心温かく迎えた。そして、夜には正月でも読書。

「年賀の客が終日次々と来る。夕方より兄嫁や2、3人の女の人に来て、夜遅く退去する。この日の読書は『畜徳録』20ページ余り」（同年1月2日）

年賀の客は次々と来る。この日は女性の客も来た。この時期まだ結婚していない草庵にとって、華やかな正月の一日になったのではないか。「年賀の客、次々と来る。しばらく弄筆（^{もろび}）を用紙1、2枚にする。夜は塾生と酒宴をして対話。この日の読書は『畜徳録』18ページ余り」（同年1月3日）3日目も年賀の客は次々と来た。その間に書き初めということだろうか、弄筆（^{もろび}）（揮毫のこと）をしている。そして夜には塾生と酒宴もして、いつになくにぎやかだったことだろう。「検読を塾生3人に。村中をあいさつに回る。夕方帰院。夜は塾生と対話。少し疲れて横になる。読書はほんのわずかしかなかった。（同年1月4日）新年の4日目、この日は草庵が村の中に出てあいさつに回った。帰院後、さすがに正月の対応で疲れたのか少し横になって休んだ。今まで3日間とも読書はよくできていたのに、この日はわずかだ。

草庵は、この年以降も毎年、村人を迎えたり村の中に出たりして正月を過ごしている。宿南の村の中で村の人々と生きていこうとする草庵の姿がある。

池田草庵先生に学ぶ会